琉球大学附属図書館報
びぶりお
http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/
April 2014
160
Vol.47 No.1
ISSN:0286-8229

巻頭言 島で暮らす

琉球大学附属図書館長 伊 澤 雅 子

私が専門としている生物学の分野では琉球列島はあこがれの研究舞台です。毎年多くの研究者が国内ばかりか海外からも訪れます。魅力ある生物相を作り出している最大の要因はこの地が島嶼群であることです。ガラパゴス諸島でダーウィンが、インドネシア周辺の島嶼でウォレスが、進化論を構築し、分類学、生物地理学、生態学など多くの分野が発展してきました。私たちはまさにそれに匹敵する場所にいるのです。小さな島々は実は壮大な時間的空間的スケールの自然の実験場であり、それぞれに千差万別の特性をもち、さまざまな生物を生み出して来ました。その結果、現在琉球列島は生物多様性の宝庫と呼ばれているのです。島嶼から生み出された多様性はそればかりではありません。島であることは、人間の歴史や文化に対しても大きな影響を与えて来ました。分断された土地で受け継がれて来た、さまざまな習慣、芸能、言葉、織物、祭礼・・・。一方、島間を人間が移動することによって生まれて来た独特の文化や技術・・・。数え上げるときりがありません。多様性が高いのは生物だけでなく人間の生活も同様なのです。

琉球列島で生まれ育って来た人は、他の島をいろいろ見て下さい。地図の上では同じように茶色に塗られている小さな点がいかに違うのかを実感できると思います。県外から来た人たちは、絶好のチャンスです。時間の許す限りさまざまな島々を回って下さい。そして自分が感じたものが何であったのかを過去の研究者や記録者の多くの資料からも勉強して下さい。

図書館ではさまざまな資料を見ることができます。特に沖縄に関する資料はどこにも負けないものです。読書だけでなく、講習会、講演会で勉強したり、映画を見たり、もちろんインターネットも活用して下さい。もう一歩進んで、自分が見つけたことを研究論文として発表したり、感じたことを詩や小説として発表したりすることもすばらしいと思います。皆さんが沖縄という最高のフィールドで勉強するお手伝いを、図書館はして行きたいと思います。

（いざわ　まさこ　理学部海洋自然科学科教授）

【目 次】

1 …… 巻頭言
2 …… 「第7回琉球大学びぶりお文学賞」を発表
3 …… 平成25年度琉球大学附属図書館貴重書展を開催しました
BIDOM登録件数10万件超
4 …… 「図書館の使い方ガイドブック」を発行しました
学生選書グループについて・ビブリオバトルを開催しました
5 …… Library Lovers'キャンペーンを開催しました
レポートの書き方講座を開催しました
6 …… リユース市について・情報リテラシーガイドブックを作成しました
図書館見学　平成25年8月～平成25年12月
7 …… 新収蔵資料紹介
本学所蔵資料が利用された報道・出版
8 …… 平成26年度　開館カレンダー
平成26年度　新入生オリエンテーション案内

「第7回琉球大学びぶりお文学賞」を発表

第7回を迎えた平成25年度は、応募対象が沖縄県内の大学生（高等専門学校の場合は本科4年次以上）及び大学院生に拡大され、10月31日（木）に応募が締め切られました。応募総数は小説部門で17編、詩部門で63編となり、学外からは小説部門が2編、詩部門が21編の応募がありました。選考委員による厳正な審査の結果、受賞作及び佳作は下記の作品に決定しました。

小説部門

受賞作 『初七日』／東恩納るり　（法文学部　国際言語文化学科　4年次）

佳　作 『ロール』／植竹亜紀子　（人文社会科学研究科　博士前期課程（修士）　2年次）
『ブルータスの歌』／迫田祐樹　（理工学研究科　博士前期課程（修士）　2年次）
『チャボ』／夢月七海　（法文学部　国際言語文化学科　2年次）

詩　部　門

受賞作 『存在感』／鮎川みのる　（法文学部　国際言語文化学科　4年次）

佳　作 『二十一世紀のシャットダウン』／安里和幸　（法文学部　総合社会システム学科　1年次）
『てぶらぷら』／上間美香　（法文学部　国際言語文化学科　4年次）
『虹の歌』／外田さし　（法文学部　国際言語文化学科　2年次）

授賞式は、平成26年1月27日（月）に附属図書館会議室で行われ、大城肇学長から賞状と副賞が授与されました。また、佳作を含む受賞作品は3月下旬にも作品集として冊子体にして発行され、図書館ホームページでもEBookとして公開予定です。

受賞の言葉

小説部門／『初七日』　東恩納 るり

今回から県内大学生へ募集枠を広げたびぶりお文学賞、その小説部門の受賞作品に選んでいただき、審査員の皆様や図書館員の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。『初七日』は、当初死んだ恋人と残された男のラブストーリーでした。しかし、あるとき、この主人公が男である必要はないんじゃないかと考え、現在の形になりました。友情とも断言できず、愛情とも発声できない主人公のもどかしさや曖昧な態度が読んでくださった方に伝わると幸いです。今年は琉球大学卒業の年ということで、大学生活最後の年にびぶりお文学賞で受賞できたことは大学生活での大きな思い出となりました。多くの人との出会いと学びを与えてくれたびぶりお文学賞は、私にとって青春そのものであったと思います。今後もびぶりお文学賞のいっそうの盛り上がりを願ってやまない次第です。

受賞の言葉

詩部門／『存在感』　鮎川 みのる

今回、発表させていただいた『存在感』という詩は、ふだんの生活のなかで、花を見ていたり、虫が飛んでいたり、地面に立っていたり、という当たり前のような小さなことを見つめ直していて生まれた作品です。多くの人は、自分に劣等感を持っていると思います。私も例にもれず、劣等感を抱く人間ですが、太陽の下ではだれでも、花でも虫でも、等しく小さな存在です。そういうある種の思い切りだとか、すがすがしさだとかを書きました。

詩作は昔から続けていますが、だれかに評価されるということを恐れてどこにも発表できずにいたのですが、昨年度のびぶりお文学賞の詩部門受賞作の作品を読み、ただひたすらに感動し、刺激を受け、自分らしい詩を投稿しようと思いました。おそらく、びぶりお文学賞の場がなければ、だれに感化されることもなく、また評価されることもなく、ひとりぼっちで詩を書いていたでしょう。このような発表の場があるということ、また評価していただいたことに感謝し、今後も詩作を続けていこうと思います。

平成25年度琉球大学附属図書館貴重書展を開催しました

附属図書館では、資料の公開や地域貢献の一環として、毎年、公共図書館と連携して貴重書展を開催しています。今年は、読谷村立歴史民俗資料館で9月4日（水）～9月15日（日）の日程で開催しました。

今回は「文献資料に見る琉球・沖縄 いん 読谷」をテーマとして、本学所蔵資料の中から県指定文化財の『屋嘉比朝寄工工四』をはじめ、読谷山花織等の染織資料を貼り付けた裂地帳など、開催地の読谷村に関わる資料を中心に厳選した27点のほか、共催機関からの展示として読谷村所蔵の舞踏用衣装「ウッチャキ」を加えた28点の原資料、及び大正期から戦後の沖縄の風景を撮った写真パネルが展示されました。

さらに、関連イベントとして、9月4日(水)に豊見山和行氏（法文学部教授）および泉川良彦氏（読谷村教育委員会文化振興課　読谷村史編集室）によるギャラリートーク、9月7日（土）に大城學氏（法文学部教授）による特別講演会「読谷の文化と芸能」を開催しました。期間中は、約800名の見学者が訪れ、その模様は地元の新聞でも紹介されました。見学者からは「読谷村を見つめ直す機会になった」「村史の貴重さも知った」「今後とも開催して欲しい」といった感想・要望が多数寄せられました。

また、この企画展の内容を期間中に見ることができなかった学内外の方を対象として、12月9日（月）～12月15日（日）の期間にリバイバル展「文献資料にみる琉球・沖縄」を開催しました。期間中は、附属図書館沖縄資料担当の久貝典子「読谷の染織について」（12月10日（火））、崎原綾乃「琉球の文化と芸能」（12月12日（木））によるギャラリートークを開催しました。

BIDOM登録件数10万件超

平成23年6月より当館ＨＰで公開を開始した沖縄文献情報データベース（BIDOM）の総登録件数が、10万件を突破しました。

沖縄文献情報データベースは、CiNii等の既存のデータベースでは網羅されていない沖縄に関する論文や図書などの文献情報を検索することを目的に構築されており、「南島研究」や「薩琉文化」等の雑誌の記事が検索可能です。

今後、さらに内容を充実させ、地域の皆様をはじめ、世界中の研究者が活用できる充実したデータベースとなるべく継続して入力作業をすすめてまいります。

今後とも、利用者の皆様、多くの機関、団体の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いします。

「図書館の使い方ガイドブック」を発行しました

図書館の使い方、本の検索の方法や論文を取り寄せる方法など、図書館の基本的な使い方を一冊の小冊子にまとめました。図書館のどこに何があってどんなことができるのか、図や写真を織り交ぜて解説しています。本を貸すだけではなく、雑誌や電子情報の閲覧、パソコンルームや学習室の利用など、図書館には様々な機能があります。図書館をすみずみまで利用するために、ぜひこの小冊子を見てみてください。

学生選書グループについて

図書館では、図書館に配架する本を学生自身で選書する学生選書グループがあり、現在24名の学生が活動しています。

年に2回行われるグループ会議では図書館への要望等について活発な意見が出され、図書館の快適な運営に役立っています。

また、直接書店へ出向き、学生の視点で学生用の図書を選書する「ブックハンティング」は、毎回数百冊の本が選書され、好評を得ています。

平成26年度は、本の選書のみならず、図書館が企画する各種イベントへの参加、新しい企画の提案等、活動の枠を広げていけることを願っています。

ビブリオバトルを開催しました

琉球大学附属図書館が主催したビブリオバトル首都決戦2013の地区決戦が10月26日（土）、ブックパーリー那覇の参加イベントとして、ジュンク堂那覇店で行われました。

ビブリオバトルとは参加者一人5分間でオススメ本の紹介を行い、その後で2～3分間のディスカッションを行った後、最も読みたくなった本をチャンプ本として選ぶゲームです。

この日のために行われた3度の予選会を勝ち抜いた3名のファイナリスト達によってビブリオバトルが行われ、その結果、沖縄国際大学の屋良朝哉さんが紹介した「すべてはモテるためである」（二村ヒトシ著）がチャンプ本として選ばれました。

Library Lovers'キャンペーンを開催しました

「収穫の秋 読書の芋。」の様子

10月21日（月）～11月17日（日）の期間、「Library Lovers'キャンペーン」を開催しました。

このキャンペーンは、九州地区の大学図書館の協同によるもので、当館では合同企画にくわえ、11月1日（金）から3つの独自企画も開催しました。
当館で実施した企画は、以下の通りです。

収穫の秋　読書の芋。～九州まるっと収穫祭～（九州地区大学図書館合同企画）

「やる気が出る」「癒される」「しんみりする」「衝撃を受けた」「その他」の5つのテーマについて、おすすめの本のコメントを集める企画。事前に九州の各大学の教員から集めたコメントを芋の葉（栄養分）に、学生からのコメントを芋に見立て、芋畑を育てるというコンセプトで実施しました。

当館では、計19件（教員2件、学生17件）のコメントが寄せられました

＊各大学で集まったコメントを公開しています！
URL：http://booklog.jp/users/librarylovers13

本のリユース（独自企画①）

図書館利用者から不要になった本を集め、無償で提供する場を設けました。117冊の本を提供することができました。

国語教科書と私（独自企画②）

思い出の国語教科書の作品のコメントを募集する企画。10件のコメントが寄せられました。

迷子の本を探せ！（独自企画③）

図書館内で不明になってしまった本を捜索する企画。10冊中5冊の本が見つかりました。

レポートの書き方講座を開催しました

11月12日（火）と13日（水）に、図書館1階多目的ホールでレポートの書き方講座を開催しました。レポート・論文とは何かという基礎的なステップから、アウトラインを立てて膨らませていくところまで、実習やグループワークなどを交えながら学んでいくプログラムです。3時間という長時間のプログラムでしたが、参加者の皆さんで和気藹々と意見を交わしながら進めていきました。どうやってレポートと向き合い、書き上げていけば良いのか、それぞれに学ぶところが多かったのではないかと思います。

リユース市について

附属図書館では、1月7日(火)～1月24日(金)の約３週間、１F多目的ホールに於いてブックリユース市を開催しました。

附属図書館では、館内書架の狭隘化が進み複数冊の重複図書を収納できない状況があり、また、改版等により不要となった図書の廃棄を行っています。このように不要になった図書を本学の学生・教職員の皆さんにお譲りして、再利用していただき学習や研究に役立てていただくためにリユース市を企画しました。

今回は、無償で、１人あたりの譲渡冊数に制限を設けず、先着順としたため、特に、初日から多くの来場者があり、延べ224人、2,229冊の図書をお持ち帰りいただき盛況のうちに終了しました。

今後とも引き続き、廃棄手続きにより不要になった資料については、今回の経験を踏まえ方法等を改善しながらブックリユース市を開催する予定です。

情報リテラシーガイドブックを作成しました

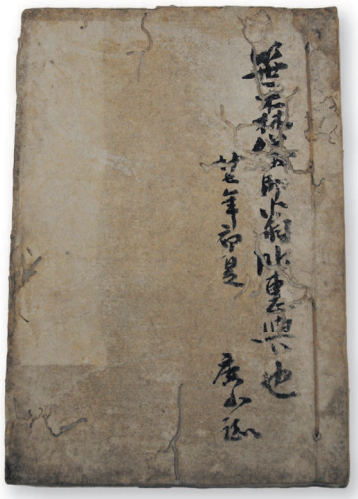
毎年作成している「琉大生のための情報リテラシーガイドブック」を今年も発行します。レポートを書くための基礎知識、著作権と引用について、琉球大学のネットワークやプリンターなどの情報基盤の使い方、図書館の使い方と、英語多読の案内を載せています。大学での課題やレポート、論文を書く際など、たくさんの情報を取捨選択して使いこなしていくために、ぜひこのリテラシーガイドブックを活用してください。ガイドブックは新入生に配布するほか、図書館2階カウンターでも無料配布していますので、ぜひ手にとってみてください。

図書館見学　平成25年8月～平成25年12月

訪問日	見学者
8月15日	沖縄県立本部高等学校　20人　図書館見学
9月3日	私立帝塚山学院大学　20人　図書館見学
9月4日	中城村立中城中学校　160人　図書館見学
9月9日	琉大附属小学校　53人　図書館見学
9月10日	琉大附属小学校　52人　図書館見学およびインタビュー
9月25日	福岡県立玄洋高等学校　70人　図書館見学
10月4日	私立東奥義塾高等学校　70人　図書館見学
11月12日	沖縄県立首里東高等学校　115人　図書館見学
11月13日	沖縄県立南風原高等学校　50人　図書館見学
11月25日	高崎市立高崎経済大学附属高等学校　35人　図書館見学
12月20日	沖縄県立陽明高等学校　63人　図書館見学

新収蔵資料紹介

■笹森儀助著「南嶋探験(稿)」



青森県出身の笹森儀助による『南嶋探験』の原稿。最初の原稿である「甲本」の可能性が高い資料である。県内の古書店より購入。

笹森儀助は、明治26(1893)年5月に弘前を出発、約五ヶ月をかけて沖縄、先島、奄美の各島々の調査を行った。その調査記録をもとに明治27(1894)年５月に『南嶋探験　一名琉球漫遊記』を上梓した。この刊本には乙・丙の二種の稿本があり、乙本、丙本については青森県立図書館に所蔵されている。『南嶋探験』の研究者である東喜望(あずま・よしもち)氏は、『南嶋探験１』(平凡社、東洋文庫411)の解題のなかで、「甲本」の存在の可能性についても言及している。本資料に記載されている日付等から、最初の原稿である「甲本」の可能性が高いと見なされている。

本資料は『南嶋探験』の後半の部分であり、本来は分冊されていたものと考えられる。刊本には掲載されていないスケッチが含まれており、今後乙・丙の稿本および刊本との比較研究が待たれる資料である。

なお、本資料については、平成26年2月2日付けの沖縄タイムス、および2月7日付けの琉球新報に記事掲載された。

■その他の貴重書

テイラー著「1853年のインド、中国、日本訪問記」初版
原題：A visit to India, China, and Japan, in the year 1853
サルウェイ著「日本の属島」
原題：The island dependencies of Japan : an account of the Islands that have passed under Japanese control since the restoration, 1867-1912

本学所蔵資料が利用された報道・出版

分類	刊行・放送	内容	資料名
展示・掲載	平成25年10月30日～12月8日	秋の特別展「近代沖縄と宜野湾」での展示、出版物への掲載(宜野湾市立博物館)	「沖縄県下各町村字並屋取調」(伊波普猷文庫) 「沖縄県下各地方間切下知役検者姓名簿」(原忠順文庫)
展示	平成25年9月～10月27日	展示会「安次嶺金正展　緑の抒情」で画像展示(沖縄県立博物館・美術館)	ニシムイ時代の安次嶺金正とスタンレー・スタインバーグ氏(W.H.Abelmann撮影写真)
放映	平成25年末	琉球放送「新　九州遺産　琉球漆器」での使用	石沢兵吾著『琉球漆器考』(伊波普猷文庫)
展示・掲載	平成26年1月17日～2月16日	展示会「南への風～沖縄・台湾～　近代沖縄の美術・工芸」での展示および図録への掲載(浦添市美術館)	「台湾」パンフレット・「最近の台湾」始政三十年記念(矢内原忠雄文庫)
放映	平成25年12月12日	ＮＨＫ沖縄「金曜クルーズ」での使用	「佐銘川大ぬし由来記」(伊波普猷文庫)
掲載	平成26年2月	『近代沖縄新聞集成　ＤＶＤ版』第６回配本への掲載(不二出版)	『沖縄朝日新聞』『沖縄タイムス』
展示	平成26年2月18日～5月11日	平成25年度博物館企画展「三線のチカラ-形の美と音の妙-」での展示(沖縄県立博物館・美術館)	沖縄県指定有形文化財『屋嘉比朝寄作工工四』

平成26年度　開館カレンダー　Library Calender 2014

■本館

開館時間　通常期：月～金［黒］(Black) 8:00～22:00
土・日・祝日・休業期［青］(Blue) 8:30～22:00
休館［赤］(Close)

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■医学部分館

開館時間　通常期：月～金［黒］(Black) 8:00～22:00
土・日・祝日・休業期［青］(Blue) 8:30～22:00
休館［赤］(Close)

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

平成26年度　新入生オリエンテーション案内

図書館では、新入生のための図書館オリエンテーションを開催します。充実した大学生活を送るために、図書館の利用法や活用法をガイドしますので、ぜひご参加ください！

【開催日】
4月3日(木)～11日(金)の平日
【開催時間】
午前　12:15～12:45　　午後　16:30～17:00
【集合場所】
附属図書館本館2階カウンター前
【内　容】
図書館ツアー

予約等は必要ありません。3分前までに集合してください。
問い合わせ先▶　情報リテラシー係(Tel:098-895-8168)

【奥付】
琉球大学附属図書館報「びぶりお」第47第1号(通巻第160号)
発行日：2014年(平成26年)4月1日
発行：琉球大学附属図書館　　編集：びぶりお編集委員会

〒903－0214　沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL：098－895－8167
E-Mail：kikaku@lib.u-ryukyu.ac.jp